

(議員用)

令和2年4月23日

宝塚市議会議長 様

議員名 三宅 浩二



令和元年度 政務活動費収支報告書

宝塚市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項の規定に基づき、下記のとおり、令和元年度政務活動費に係る収入及び支出を報告します。

記

1 収入 政務活動費 858,000 円

2 支出

科 目	金 額
研究・研修会費	- 円
調査費	- 円
広報費	- 円
広聴費	- 円
要請・陳情活動費	30,200 円
資料作成・購入費	- 円
人件費	- 円
事務費	- 円
合 計	30,200 円

3 残 額 827,800 円

支 出 内 訳 書

科 目	内 訳	
研究・研修会費 (0 円)	(1) 会場費 (2) 講師謝金・旅費 (3) 出席者負担金・会費 (4) 旅費 (5) 交通費 (6) その他	- 円 - 円 - 円 - 円 - 円 - 円
調査費 (0 円)	(1) 旅費 (2) 交通費 (3) その他	- 円 - 円 - 円
広報費 (0 円)	(1) 広報紙・報告書印刷費 (2) 送料 (3) 会場費 (4) その他	- 円 - 円 - 円 - 円
広聴費 (0 円)	(1) 交通費 (2) 会場費 (3) 印刷費 (4) その他	- 円 - 円 - 円 - 円
要請・陳情活動費 (30,200 円)	(1) 旅費 (2) 交通費 (3) 印刷費 (4) その他	30,200 円 - 円 - 円 - 円
資料作成・購入費 (0 円)	(1) 資料作成費 (2) 翻訳料 (3) 書籍・新聞等購入代 (4) その他	- 円 - 円 - 円 - 円
人件費 (0 円)	(1) 賃金	- 円
事務費 (0 円)	(1) 文房具代 (2) 備品費 (3) 電話料 (4) その他	- 円 - 円 - 円 - 円

(会派名または議員名 三宅 浩二)

政務活動費支出書

支出科目	要請・陳情活動費	内 訳	旅費	支出番号	1
支 出 日	令和1年8月29日		支出金額	30,200 円	
支 出 先	JR他				
支 出 内 容	文部科学省副大臣への要請時の旅費				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	0	円減額

領 収 書 三宅浩二 様

Receipt

領収年月日 2020.-4.23

金 額 ￥29,300 (消費税等込み) 再発行

上記金額確かに領収いたしました 2019.8.20 購入

購入商品 JR乗車券類 JR tickets

(30115 4枚)

西日本旅客鉄道株式会社

宝塚駅

宝塚駅F1発行 20072-01

印紙税申告納
付につき大淀
税務署承認済

供	議 長	副議長	周 長	次 長	課 長	副課長	係 長	係	合
見									議

別紙様式 7-2 (議員用)

要請・陳情活動報告書

宝塚市議会議長 様

議員名 三宅 浩二



要請・陳情活動の結果について、次のとおり報告します。

- 要請・陳情先
(名称・相手方氏名等) 文部科学省 浮島智子 副大臣
- 要請・陳情活動の実施場所
(名称・所在地) 東京都千代田区霞が関3丁目2-2 文部科学省
- 期 間 令和元年8月29日
- 出張者氏名(議員名) 三宅 浩二
- 要請・陳情活動の内容(概要) ※成果、所見等については別紙を添付
教育環境整備の為に予算要望(タブレット設置費用、エアコン設置費用)

6 旅費
①鉄道賃等

月 日	交通機関	経 路	金額	領収書の有無※	備 考
8/29	阪急	山本～梅田	280円	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	J R	大阪～新橋	14,650円	<input checked="" type="radio"/> 有・無	
	地下鉄	新橋～虎の門	170円	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	地下鉄	虎の門～新橋	170円	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	J R	新橋～大阪	14,650円	<input checked="" type="radio"/> 有・無	
	阪急	梅田～山本	280円	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
			～		
合 計			30,200円		

※原則として領収書の添付が必要だが、券売機での切符購入等で領収書が徴しがたい場合は、2,000円以内の支出に限り、本報告書への記入をもって領収書の添付に代えるものとする。

②宿泊料

人	泊	金額	計	円
7	交通費	ガソリン代		円
		高速代		円
		駐車場代		円
		自動車借上料		円
		計		円

【記入要領】

- ア 要請・陳情活動を実施した場合、この報告書を作成すること。
- イ 要請・陳情活動の成果、所見等については別紙を添付すること(書式は任意)。
- ウ 鉄道賃等は、現に要した実費を記入すること(領収書を別紙に添付する)。
ただし、行程等については経済的かつ合理的な経路及び方法によるものとする。
- エ 通常の経路以外の経路を用いた場合は、その合理的な理由を備考欄に記入すること。
- オ 宿泊料は、上限額(13,000円)以内で現に要した実費を記入すること(領収書を別紙に添付する)。
- カ 鉄道賃等と宿泊料がセットになっている場合は、鉄道賃等の項に合計金額を記入し、その旨を備考欄に付記すること。
- キ 交通費は、自家用車(バイクを含む)等を利用した場合に記入すること(領収書を別紙に添付する)。



日 時	令和元年 8月29日(木) 15時00分～15時20分																																																																
陳情先 東京都千代田区霞が関3丁目2-2 文部科学省副大臣室 浮島智子 副大臣																																																																	
<p>14時40分 文部科学省 1階ロビーにて集合(市長、管理部長、学校教育部長他)</p> <p>14時50分 待合室にて待機</p> <p>15時00分 副大臣室にて浮島智子文部科学省副大臣への予算確保の陳情(20分間) 同席者 中川市長、村上管理部長、橘学校教育部長、秘書課長、職員 伊藤孝江参議院議員(宝塚市在住) 高橋光男参議院議員(宝塚市出身)</p>																																																																	
陳情内容(要望書は別途添付)																																																																	
<p>1. 学校のICT環境整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規事業のために必要な予算 <p>【タブレット端末整備費】</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">小学校</td> <td style="width: 15%;">24校</td> <td style="width: 15%;">×41台</td> <td style="width: 15%;">(419百万円)</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>12校</td> <td>×41台</td> <td>(209百万円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>養護学校</td> <td>1校</td> <td>×31台</td> <td>(13百万円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>37校</td> <td>1,507台</td> <td>(641百万円)</td> <td></td> </tr> </table> <p>【電子黒板整備費】</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">小学校</td> <td style="width: 15%;">24校</td> <td style="width: 15%;">×5台</td> <td style="width: 15%;">(36百万円)</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>既に各校1台導入済</td> <td>中学校</td> <td>12校</td> <td>×5台</td> <td>(18百万円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>小計</td> <td>36校</td> <td>180台</td> <td>(54百万円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td>(695百万円)</td> </tr> </table> <p>2. 空調設備整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">安倉小学校</td> <td style="width: 10%;">:</td> <td style="width: 30%;">150百万円(国費 27百万円)</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td>丸橋小学校</td> <td>:</td> <td>20百万円(国費 6百万円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>安倉北小学校</td> <td>:</td> <td>20百万円(国費 6百万円)</td> <td>合計:</td> </tr> <tr> <td>養護学校</td> <td>:</td> <td>92百万円(国費 9百万円)</td> <td>282百万円(国費 48百万円)</td> </tr> <tr> <td>長尾中学校</td> <td>:</td> <td>118百万円(国費 34百万円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>合計</td> <td>400百万円(国費 82百万円)</td> </tr> </table> <p>ICTについては村上管理部長、空調設備については橘学校教育部長から説明を行い、中川市長より重ねて要望を行いました。 浮島副大臣からはICT機器を整備することがゴールではなく、ICTを活用して人を育てることが重要と強調されていました。 空調設備については整備率が未だに数%の地域がある為、どこまで要望にお応え出来るか分からないがしっかり受けとめるとのことでした。</p> <p>所感 これまで、宝塚市として国土交通大臣への要望は行ってきたが、文科省への要望は今回が初め</p>		小学校	24校	×41台	(419百万円)		中学校	12校	×41台	(209百万円)		養護学校	1校	×31台	(13百万円)		小計	37校	1,507台	(641百万円)		小学校	24校	×5台	(36百万円)		既に各校1台導入済	中学校	12校	×5台	(18百万円)		小計	36校	180台	(54百万円)		合計			(695百万円)	安倉小学校	:	150百万円(国費 27百万円)		丸橋小学校	:	20百万円(国費 6百万円)		安倉北小学校	:	20百万円(国費 6百万円)	合計:	養護学校	:	92百万円(国費 9百万円)	282百万円(国費 48百万円)	長尾中学校	:	118百万円(国費 34百万円)				合計	400百万円(国費 82百万円)
小学校	24校	×41台	(419百万円)																																																														
中学校	12校	×41台	(209百万円)																																																														
養護学校	1校	×31台	(13百万円)																																																														
小計	37校	1,507台	(641百万円)																																																														
小学校	24校	×5台	(36百万円)																																																														
既に各校1台導入済	中学校	12校	×5台	(18百万円)																																																													
	小計	36校	180台	(54百万円)																																																													
	合計			(695百万円)																																																													
安倉小学校	:	150百万円(国費 27百万円)																																																															
丸橋小学校	:	20百万円(国費 6百万円)																																																															
安倉北小学校	:	20百万円(国費 6百万円)	合計:																																																														
養護学校	:	92百万円(国費 9百万円)	282百万円(国費 48百万円)																																																														
長尾中学校	:	118百万円(国費 34百万円)																																																															
		合計	400百万円(国費 82百万円)																																																														

てとなる。

他市に後れをとるICT整備については、財政が厳しい中、文科省の支援が重要であると重ねて要望し、空港騒音対策により早くから空調設備整備に取り組んできた宝塚市では、多くの学校が設備更新時期を迎えており、新設だけではなく更新に対する新たな補助メニューが必要ではとの話題もありました。

文科省においても国交省同様20分刻みに次々と自治体や団体が要望に訪れており、財源を確保することの困難さを感じるとともに、重要性を再確認しました。

また、副大臣へ直接要望する時間の確保についても、決して容易なことではなく、宝塚在住の伊藤孝江参議院議員、宝塚市出身の高橋光男参議院議員の尽力も大きな要因と思います。

財政の厳しい中、国の様々な補助金メニューをしっかりと把握して、周到な準備のもと予算要望を行うことが重要であると感じました。



浮島文部科学副大臣に要望書を手渡す中川市長



要 望 書

令和元年 8月

ときめく日々が
たからもの。

宝塚

兵庫県宝塚市

文部科学副大臣

浮島 智子 様

学校のICT環境整備及び空調設備整備に係る要望書

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。平成30年度第2次補正予算においては、学校施設環境改善交付金のご決定をいただき、感謝申し上げます。

次に掲げる事業はいずれも今後の本市の教育にとって緊急を要する案件でありますので、引き続き令和2年度予算編成に際しましても、格段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

一 学校のICT環境整備について

宝塚市では、新学習指導要領の実施に伴い、文部科学省が必須とするICT環境の整備に向け取り組んでおります。特に、タブレット端末・電子黒板は、児童・生徒にわかりやすい授業の実施に極めて効果的なものと考え、最も重要な位置付けとしています。また、デジタル教科書を使用することで、児童生徒一人一人の個に応じた学びができ、個の能力の育成にも大きく寄与するものと考えます。

これらICT環境整備の経費については、地方財政措置がされているものの充分ではなく、既存の事業(校務支援システム・セキュリティ対策・ネットワーク分割・校務用コンピュータ等)を維持することに留まっています。新規でICT機器を整備するためには、市の一般財源で措置しなければならず、配置状況に都市間格差が生じているのが現状です。

こうした状況を是正し、子どもたちにとってよりよい教育環境を構築するため、ICT環境の整備に用途を限定した予算の確保について要望いたします。

・新規事業のために必要な予算

【タブレット端末整備費】	小学校	24校×41台(419百万円)
	中学校	12校×41台(209百万円)
	養護学校	1校×31台(13百万円)
	小計	37校 1,507台(641百万円)
【電子黒板整備費】	小学校	24校×5台(36百万円)
	中学校	12校×5台(18百万円)
	小計	36校 180台(54百万円)
	合計	(695百万円)

二 空調設備整備について

宝塚市では、大阪国際空港の航空機騒音対策として、早期から学校施設の空調設備整備に取り組んでおり、平成19年度には全小中学校の普通教室、特別教室の冷房化が完了しました。しかしながら、設備設置から10年以上が経過し、老朽化した空調設備の更新が急務となっております。また、市立特別支援学校では、在籍する児童生徒の体温調節の観点から、空調整備済みの教室と、空調未整備の廊下の温度差の解消が求められています。

こうしたことから、次年度は、特に老朽化の著しい市立安倉小学校の全館空調設備の個別空調更新工事と、市立丸橋小学校、市立安倉北小学校の一部教室の個別空調更新工事、市立養護学校の廊下への空調新設工事の実施を予定しており、必要な予算の確保を要望いたします。

事業費 安倉小学校	: 150百万円(国費 27百万円)
丸橋小学校	: 20百万円(国費 6百万円)
安倉北小学校	: 20百万円(国費 6百万円) 合計:
養護学校	: 92百万円(国費 9百万円) 282百万円(国費48百万円)

また、老朽化した全館空調設備のうち、市立長尾中学校においては、令和元年度現在、市単費での更新工事を実施しており、財政的負担が非常に大きくなっています。本件について、平成30年度「ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金」同様、交付決定前に竣工した事業に対する財政措置を講じていただくとよう要望いたします。

事業費 長尾中学校 : 118百万円 (国費 34百万円)

令和元年(2019年) 8月29日

兵庫県宝塚市長 中川 智子

